

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

10月20日 午後2時～4時

毎月第三日曜日

10月の
ミニ講話

「どん底に大地あり」

遠藤 博之 先生

たんぼぼ診療所 院長

「どん底に大地あり」は一九四五年八月九日、長崎に原子爆弾が落とされた時に被爆した永井隆先生のお言葉です。永井先生は長崎大学医学部の医

師でしたが、原子爆弾によって奥様を亡くされ、自らも被爆しながら救護活動に当たられました。私は医学部の学生時代に永井先生の『この子を残して』を読んで、とても感動したことを覚えています。数年前、NHKの朝の連続テレビ小説「エール」で主人公の祐一（モデルは作曲家の古関裕而）は、失意の底にいなから、原爆投下後の長崎で「どん底に大地あり」という言葉に触れ、そこから希望を見出し、「長崎の鐘」を完成させました。永井医師をモデルとした役を演じた吉岡秀隆さんは、インタビューの中で『「どん底に大地あり」は今の世の中にも伝えたいメッセージ』と語っています。

多分高校生の頃から私は「自分に何も頼るものが無くなってしまったら、それが本当の幸せだろう」と思い、そのような心を探しています。この「自分に何も頼るものがなくなる」

お言葉を知りましたが、私はずっと追い求めていることかもしれないと感じています。

人は誰でもいつか人生の終わりに「どん底」を味わわなくてはならないのかもしれない。とすれば、その前に「自分に何も頼るものが無くなって

も幸せを感じる心」を持てたら…。この「本当の幸せ」を探しながら皆さまと歩んでいきたいと思えます。



遠藤博之先生

プロフィール

- ・静岡県清水区出身
- ・静岡済生会総合病院
胃腸内科医長・緩和診療科長を
歴任。
- ・2006年 たんぼぼ診療所開設
「スピリチュアルケア、悲しみのケ
ア」を追求中。

今月は会場のみの開催になります。

今月は、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。オンラインから参加はできません。

会場参加希望の方は、開催時刻の二時までに、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。

申し込み不要です。参加費として百円ご用意お願い致します。水分は各自ご持参いただきますようお願い致します。

今後のオレンジカフェ予定

令和6年11月17日(日)

ミニ講話 近藤葉子さん

・愛知県認知症希望大使

『認知症とともに～未来に向かって～』



近藤葉子さん

令和6年12月15日(日)

ミニ講話 近藤匡晴先生

こんどう歯科医院 院長

令和7年1月19日

ミニ講話 たたらなおきさん

絵本・造形作家



会場の写真

カフェのプログラム

一、ミニ講話 遠藤博之先生

質疑応答

歓談

二、声のワークショップ 上藤美紀代さん

個別相談(増田實さん)

今月の相談担当者

今月は城東ケアプランセンターから、増田實さん(主任ケアマネジャー・介護福祉士・柔道整復師)が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供 社会福祉法人静和会

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com

※駐車場あります



バス:静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分